

高等部1・2年 課題学習 学習指導案

1 題材 ヒントで当てよう！～聞いて・話して～

2 題材について

(1) 設定理由

- 本グループは3名で構成されている。3名とも自分の好きなことや興味あることに対しては積極的で会話も豊富である。しかし書字や計算に関しては苦手意識があり、学習全般に対して自信がない生徒や、苦手なことや経験したことのない活動に対しては活動が滞り、取り組みに時間がかかる生徒もいる。
- 3名とも、基本的に言葉でのやり取りを交わして会話を楽しむことができ、自分の興味のあることや得意な分野については知識も豊富で、言葉もたくさん出てくる。しかし、相手の状況や様子を見て話さなかつたり、一方的に話してしまう面があり、夢中になってしまふと相手に応じて敬語で話すことを忘れてしまうことがある。また、質問に対して意見をまとめて話すことが苦手な生徒や、詳しく説明を求める「分からない」とすぐに諦めてしまう生徒がいる。

将来、社会に出て人とのやり取りをする中で、指示や話の内容の要点を聞いて行動することや自分の伝えたいことを分かりやすく話すことはとても重要な力になると考える。

- そこで、本題材では必要なことを聞き、要点を絞って話すことの導入の授業として、ある事物に関する情報を聞いて正解を類推するクイズや、写真に関するヒントを聞いて、正しい写真を選ぶ活動を中心に設定した。様々な状況の写真を用意し、ヒントを出す役と聞く役に分かれて位置や形、色など自分で考えた条件の中から情報を選択し、相手に分かりやすく順序立てて話すこと、またそれを聞きとることができるように展開にした。生徒の興味・関心に基づく事物や身近な人物を登場させた教材を用意し、ゲーム性も取り入れ出題者と回答者で役割を交換し協力しながら活動を進めていくことで、次の段階である相手の立場や意図を考えて聞くことや話すことにもつなげられるのではないかと考え、本題材を設定した。

(2) 生徒の実態

氏名	聞く・話す	学習態度・行動特徴など
A	注意を話し手に向けるよう言葉かけが必要な場合があるが、細かな情報を聞き、自分なりに解釈することができる。事前にまとめたメモ等を手がかりに、質問したりまとめて話したりすることができる。	プリントでの学習が得意で次々と問題に取り組むことができる。様々な内容に興味を持ち、楽しんで取り組む様子が見られる。話を聞く場面では集中が途切れてしまうことがある。経験したことがない活動には取り組むまでに励ましが必要なことがある。
B	話すことに夢中になり、言葉遣いが乱れてしまうことがあるが、気付いて言い直すことができる。話したいことはたくさんあるが、質問には考え込んでしまう事が多く、まとめて話すことやゆっくり話すことは苦手である。	学習の見通しを持ち、取り組むことができる。よそ見をしたり、考え方をしてしまったりする時は言葉かけが必要である。自信のなさから、答えがなかなか決められないことや答えることを拒んでしまう一面がある。
C	敬語で話すことが身に付いてきて、積極的に人と話すことが増えた。話すことに夢中になり相手の状況を考えず、まとまりのない内容になりがちである。質問や他の人の意見を受け、自分なりに考えて応答しようとすることができる。	自分の意見を話し、積極的に活動に取り組む様子が多く見られる。自信のないことや納得のいかない内容には不安や自信のなさが見られ、受け入れにかなり時間がかかることがある。

(3) 個別目標

氏名	個別目標
A	要点をまとめて・相手に分かりやすく話すことができる。
B	相手の話をよく聞き、活動することができる。
C	話す早さや内容に気を付けて、話すことができる。

3 指導計画 (22 時間取扱い : 1 単位 45 分)

- 第1次 よく聞こう 一音当てクイズー 4時間
 第2次 ヒントで当てよう！ 12時間 (本時は第10時)
 第3次 インタビューに挑戦しよう 6時間

4 本時の指導

(1) 個別目標

- 写真カードや事物を見て、要点を絞って特徴や状況を話すことができる。 (A・C)
- 出題者の言葉をよく聞き、正解を考えたり、選んだりすることができる。 (B)

(2) 準備・資料

出題品、ルールカード、名札、役割札、パーテーション、キーワードカード、話題ジャンルカード

(3) 展開

⇒評価の観点

時間	学習内容・活動	指導・支援上の留意点
5	1 本時の学習内容を知る。 (1) 始まりのあいさつをする。 (2) 本時の学習内容を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 直の生徒には、周りの様子を見て号令をかけるように促す。 ・ 学習の流れを聞くことで見通しを持って取り組むことができるようする。
15	2 スリーヒントクイズを行う。 (1) ジャンルカードを引く。 (2) 問題を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ ヒント数を限った短い聞き取り問題に取り組み、聞く姿勢を整えることができるようする。 ・ クイズのジャンルをカードでランダムに選ぶことで、様々な分野の話題を引き出せるようする。 ・ うまく聞き取れなかった場合は、「もう一度お願ひします」など自分から聞き返すことができるよう促す。
20	3 ヒントで当てよう！を行う。 (1) 役割分担をする。 (2) 問題を出し合う。	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出題者、解答者の順番を決め、どちらの役割も行えるように促す。 ・ ルールや注意するポイントを全員で確認する。 ・ Bには、言葉かけを事前に行なうことで耳を傾けて集中して聞くことができるようする。 ・ 出題者には、ポイントを挙げることでスピードや声の大きさにも気を付けて話すことができるようする。 ・ Cは、適切にポイントを絞って話すことができるよう見守り、丁寧に話せるようする。 ・ Aには、ポイントを事前に確認することで解答者が正解にたどりつけるよう情報を精選して伝えられるようする。 ・ 解答者は、不十分な点は挙手して質問し、自分の聞きたい内容を引き出せるよう助言を行う。 ・ なかなか質問を考えられない時には、質問のキーワードを手がかりに質問しても良いことを伝える。 <p>⇒相手を意識し、特徴や状況を分かりやすく話すことができたか。(A, C)</p> <p>⇒話をよく聞き、答えを考えたり選んだりすることができたか。(B)</p>
5	4 本時のまとめをする。 (1) 学習活動を振り返る。 (2) 終わりのあいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの取り組みで良かった点を賞賛し、次の学習へつなげられるようする。 ・ 正しい姿勢であいさつをすることを促し、学習の終わりを意識できるようする。